

デング熱・チクングニア熱について

デング熱およびチクングニア熱は、蚊が媒介する感染症(蚊媒介感染症)として知られており、特にデング熱は、海外で感染した患者(海外感染事例)が毎年、多数報告されています。今までは、海外で感染する病気と考えられていたデング熱ですが、2014年に約70年ぶりに、国内で感染した患者(国内感染事例)が報告されました。

どのように感染するの？

ウイルスをもった蚊(ネッタイシマカ・ヒトスジシマカ)に刺されることで感染します。現在のところ日本ではネッタイシマカは生息していないので、ヒトスジシマカ(※)によって媒介されると考えられます。ヒトからヒトへ直接の感染は知られていません。

※ヒトスジシマカって？

日本のほとんどの地域(秋田県および岩手県以南)の都市部によく見られるヤブカで、背中にある一本の白い筋が大きな特徴です。日中、屋外での活動性が高いことが知られています。日本での活動時期は、おおむね 5月中旬頃～10月下旬頃までです。

潜伏期間は？

デング熱……………2日～15日(多くは3日～7日)
チクングニア熱……………3日～12日(通常3日～7日)



主な症状は？

デング熱……………発熱、血小板減少、頭痛、白血球減少、発疹など
チクングニア熱……………発熱、手首や足首等に対称性の関節痛、発疹など

治療は？

ワクチンや治療薬はなく、対症療法です。通常1週間程度で回復しますが、まれに重症化することがあります。

予防するには？

蚊に刺されないようにすることが重要です。海外などの流行地に出かける際は、特に注意しましょう。

- ◎長袖、長ズボンを着用し、肌の露出を少なくする
- ◎必要に応じて忌避剤(虫よけ)を使用する
- ◎建物の中に蚊が入らないよう、ドアや窓の開閉を少なくし、網戸や殺虫剤を活用する
- ◎海外へ出かける際は、現地での感染症発生状況を事前にチェックする



[問い合わせ先]各区保健福祉センター／[発行]大阪市保健所感染症対策課